

【件名】

中野区産業振興方針（案）について

【要旨】

区では、中野区産業振興方針の策定に向けて、中野区産業振興方針（素案）を基に区内経済団体等に対するヒアリングを重ねてきたところである。ヒアリングにおける意見を踏まえ、この度、中野区産業振興方針（案）を取りまとめたので報告する。

1 中野区産業振興方針（素案）に対する主な意見の要旨

別紙1のとおり

2 今後のスケジュール

令和6年 2月

中野区産業振興方針策定

3月

中野区産業振興方針を議会報告

中野区産業振興方針(素案)に対する主な意見の要旨

No	主な意見の要旨
基本方針1 中野区の立地や環境を生かした中小企業振興策を実施する	
1	小規模事業者であればあるほど健康経営は重要になってくる。
2	他の方針ではツリー構造になっていたり、官が上位にあるものを見かけるが、産業振興方針の中にあるコーディネーターを中心とした支援体制のアドバイザーグループの輪については、一部が頑張るというのではなく、みんなが頑張るところが出ていてとても良い。
3	大学側も学生の実践教育の場を求めているし、学生側も就職活動の加点にもなるので、大学と連携を図るとよい。
4	性別問わず創業、就労を支援することにより全体の生産性が上がる。希望者含む創業者同士が悩みを共有・交流できる場を行政として整備してはどうか。
5	創業期の販路開拓が難しい。課題解決の手段として金銭以外の部分(販路や顧客、ノウハウなど)を事業承継することで創業期がスムーズになる。
6	創業希望者からすると、実際に創業して成功した体験を聞くことは貴重。創業希望者と創業者と交流することで、創業に対するイメージをつかむことができる。
7	チャレンジショップやチャレンジショップカーの整備を行ってはどうか。商店街から入って欲しい業種の希望をとり、それに合致する創業者をマッチングするのも良い。
8	経営者同士が交流できる場の創設など、ネットワークづくりのきっかけを区に支援してほしい。
9	中高生への創業教育の必要性を強く感じている。経営者のネットワークづくりと並行して、現役経営者たちによる次世代に対する創業教育を実施したい。また、その場や機会づくりを区に支援してほしい。
10	コーディネーターを中心とした支援体制は良いと思うが、アドバイザーグループにつなぐ役割を担う人材は複数である必要がある。また、経営者のネットワークができれば、その人たちがコーディネーターを後方支援することができると思う。
11	学術機関との連携は絵に描いた餅であることが多い。一方でそれへの期待はある。特定の研究室やゼミなどとの連携による実効性のある取組を、まずは形にして動きをつくる必要があるのではないか。
基本方針2 キャッシュレス化と個店支援を中心とした商店街支援を進める	
12	若者が回遊する商店街にするために、学生と連携して行動分析をしてはどうか。
13	一部の商店街で、夜の客引きが増えており治安が悪化していると聞く。区商連で浄化作業をしようにも限界がある。新宿や渋谷のように、行政の力も借りたい。
14	大きなイベントは中野駅周辺に集まっていて区内全体の回遊性を感じられない。鷲宮や南台の地域でもにぎわいを感じられると区内商業全体の活性化につながるのでは。
15	商店街は人材、金銭の課題を抱えている。都と一体的にさまざまな補助メニューを用意してもらっているが、課題に対する直接的な支援を希望する。
16	高齢化も進み、担い手が不足しており、10年後に商店街が存続しているかもわからない状況である。商店街の将来に対する道筋を示すような支援もほしい。
17	都の補助制度は、区の現状に即していないものが多い。区独自の補助制度が必要だと思う。ヒアリングを重ねて、中野区らしいきめ細やかな支援をお願いしたい。
基本方針3 地域の中小企業や商店街・個店の振興に寄与するまちづくりを進める	
	※意見なし
基本方針4「文化・芸術」「コンテンツ」「グルメ」を重視した都市観光施策を進める	
18	サブカルの中野のイメージをどう使っていくかという面での、eスポーツ。将来、オリンピック競技にも選出される可能性のあるものであるため、サブカルの延長線上で何か取り組めないか。